

J A M 政策NEWS

2007年11月16日 第2008-11号

【発行】J A M

【発行責任者】斉藤 常

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

女が変わる、男も変わる

婦人少年局誕生から60年を記念して女性と仕事の未来館が特別展

旧労働省婦人少年局（現厚生労働省雇用均等・児童家庭局）が誕生して60年を迎えます。これを記念して、「女性と仕事の未来館」では、特別企画展示「婦人少年局誕生から60年～女が変わる、男も変わる～」が開催されています。（2007年11月15日～2008年1月31日、入場無料）

この展示では、旧労働省婦人少年局設置当初からの行政資料を公開し、拓かれていく女性の時代を追うとともに、男女雇用機会均等法前史から直近までの改正の変遷や関係施策について、パネル展示や実物資料などで紹介されています。また、関連講座も予定されています。

女性政策の課題・状況の変遷がわかる

1947年に誕生した旧労働省婦人少年局は、日本の女性の問題を専門に担当する部署として初

めて官公庁に設置されました。以来、婦人局、女性局、雇用均等・児童家庭局と名称を変えながら、働く女性の環境整備のための様々な施策を行ってきました。特に、設置当初は新しい法律や制度の周知・啓発のためのポスターやパンフレットの作成、時勢に応じた調査活動などが行われており、こうした行政資料を見ることで、時代時代の女性政策の課題や状況を知ることができます。

会場はJAM本部からすぐ

「女性と仕事の未来館」は、JAM本部のある友愛会館から徒歩10分の場所にあります。都内近郊の方はもちろんのこと、それ以外の方もJAMの会議等で友愛会館を訪れた際に立ち寄ってみたいかがでしょうか。

展 示 内 容

第一部

- 女性の時代を拓いた小さな展示物
- 婦人少年局は何をすところか
- 変わった？ 変わらない？ 働く女性と日本の社会
- 新しい婦人の地位 - 1952年と今を比較する -
- 変化していく女性のすがた - 1950年代の主婦 -

第二部 男女雇用機会均等法

- 均等法が成立するまでの道のり
- 男女雇用機会均等法とその変遷
- 均等法の施行状況
- 均等法は働く女性をどう変えたか

関 連 講 座

- (1) 山川菊栄と婦人少年局
日時：2007年12月21日（金）18：00～20：30
講師：鈴木裕子（女性史研究者）
- (2) もっと知ろう均等法
日時：2008年1月31日（木）18：30～20：30
講師：朝倉むつ子（早稲田大学大学院教授）

講座はどちらも定員50人、無料、会場は未来館
参加申し込みは未来館ホームページから
<http://www.miraikan.go.jp>

女性と仕事の未来館事業概要

女性と仕事の未来館は、働く女性及び働きたい女性一人ひとりが、働くことの中に自分の可能性を発見し、その可能性を広げ、健康で自分らしい働き方を実現できるよう支援する全国唯一の事業拠点として、平成12年1月20日に開館し、今日まで（財）女性労働協会が事業の運営を行ってきた。

主な事業として「女性の能力発揮事業」「女性の健康促進事業」「情報・広報事業」を3本柱とし、セミナーや相談、ライブラリー、展示などの様々な事業を、有機的な連携を図りながら総合的に展開している

